

東日本大震災から2年が経過…。被災地は今、どんな状況なのかをあなたは知っていますか？
現地で支援活動を行っている2名の支援者から学び、災害に備えましょう。

東日本大震災から学ぶ

～大地震・津波から命・家族・仲間を守るために～

2011年3月11日午後2時46分、三陸沖で発生したマグニチュード9.0の大震災が起きました。最大震度7の強い揺れと国内観測史上最大の津波を伴い、東北・関東地方を中心とする広い範囲に甚大な被害をもたらし、多くの死者・行方不明者がでました。

東日本大震災から2年が経ち、被災地では危険指定地域内にも店舗や会社が営業を再開したり、学校の仮設校舎が造られ、見た目には少しずつ復旧しているように見えますが、やはり被災した場所では、未だに基礎がむき出しで手付かずの場所が多々あります。

このような被災地の現状から、地震・津波に対する意識をより一層高め、防災・減災対策や正しい知識の普及を目的として「東日本大震災から学ぶ講演会」を開催しますので、みなさまの参加をお待ちしております。

**入場
無料**

**事前申込
必要
下記参照**

【講師プロフィール】

岩手県釜石市出身、高橋鮮魚店運営
3.11 東日本大震災により、水産業が大きな被害を受け、事実上失業状態のなかで「今自分が出来る事を考え行動しよう」と思い、個人で震災被害の大きかった大槌町を支援している。震災から1年、新たな支援活動を遂行すべくNPO設立。被災者支援を継続しながら、被災地産業復興支援として、被災事業者販売促進支援、商品開発支援、新規起業支援、6次産業化推進支援。また、子ども育成支援として、保育施設年間行事運営支援、イベント企画・運営支援、県内外交流支援、スポーツ振興支援と幅広く活動を継続している。



高橋辰昇氏

NPO 三陸産業復興支援 ASSIST SANRIKU 代表

【講師プロフィール】

岩手県遠野市出身
震災直後から釜石市内を中心に災害ボランティア活動を行い、現在もASSIST SANRIKU、陸前高田市復興ボランティアステーションとの連携や、かながわ金太郎ハウスのボランティアコーディネーターとして勤務し、被災者の声を聞き、ニーズを捉え、県外から来るボランティアの復興支援活動の派遣調整を行っている。



大泉勝洋氏

岩手県遠野市社会福祉協議会職員・かながわ東日本大震災ボランティア（かながわ金太郎ハウス）ボランティアコーディネーター

場所：保土ヶ谷公会堂

日程：2013年3月13日（水）18：30～20：30

時間：開場 18：00 講演時間 18：30～20：30

同時開催：被災地の現状の写真紹介・東日本大震災義援金受付
保土ヶ谷区災害ボランティアネットワークの活動紹介

料金：無料

主催：福）横浜市福祉サービス協会 横浜市星川地域ケアプラザ

協力：保土ヶ谷区災害ボランティアネットワーク

申込：2月1日（金）10：00～

電話（045-333-9500）・ファックス・Eメールまたは直接窓口で受付。

《問合せ先》 横浜市星川地域ケアプラザ 電話 333-9500 FAX 340-2100
〒240-0001 横浜市保土ヶ谷区川辺町 5-11